

郡上農林事務所の普及活動状況 令和8年6月30日現在

地域農業を牽引する経営体の育成

■指導農業士 中濃ブロック合同研修会を開催

6月22日、美濃市において、武儀・郡上・可茂地区の指導農業士会と合同の現地研修会が開催され、郡上地区から7名が参加した。

研修会では、美濃市で「株式会社紫屋」が自社で栽培するサツマイモを原料として焼酎を製造する焼酎蒸留所と中濃地区の指導農業士が代表を務める関市の「辻農園」を訪問し、施設の概要や経営方針等について説明を受けた。

合同研修会は、武儀・郡上・可茂地区の指導農業士会が持ち回りで開催しており、他地区の現地を見て情報交換を図る良い機会ともなっている。

農業普及課では、これからも地域のリーダーである指導農業士会の活動を積極的に支援していく。



【株式会社紫屋代表者の説明に耳を傾ける指導農業士】

安心できる農畜産業と農村の環境整備

■夏だいこん 本格的な出荷に向けて目揃え会を開催

6月25日、ひるがの高原だいこん生産出荷組合は、令和8年作の本格出荷を前に出荷目揃え会を開催した。

本年は積雪の影響もなく春先から播種は順調に行われたが、気象庁の発表では、今春からエルニーニョ現象が発生していると見られ、秋にかけて続く見込みとされている。エルニーニョ現象が発生すると梅雨が長くなる傾向があり、近年は異常気象により集中豪雨など不安定な天候が憂慮されることから、農業普及課では、土壌流亡対策など今後の栽培管理における注意点、熱中症への注意喚起を行った。

農業普及課は、夏期の安定生産と持続的な産地づくりに向け関係機関と連携しながら必要に応じた改善対策を支援する。



【目揃え会の様子】